

各位

NTT 都市開発株式会社

NTT 日比谷ビルとともに、街の記憶を振り返る

NTT 日比谷ビル解体工事現場の仮囲いにアートを実施

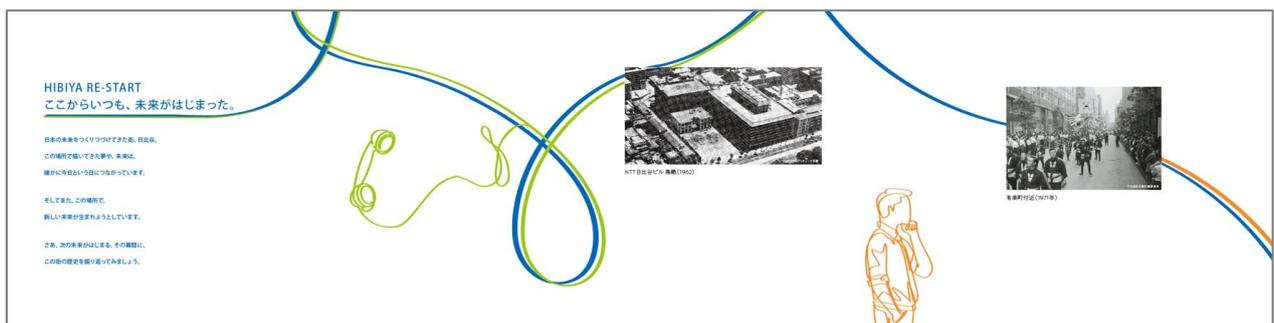
NTT 都市開発株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 辻上 広志）は、事業者 10 社で取り組む「(仮称) 内幸町一丁目街区開発プロジェクト」(千代田区内幸町)の推進にともない、2022年8月より NTT 日比谷ビルの解体工事を進めています。このたび、当ビルの所有者である日本電信電話株式会社と公共建物株式会社のご協力により、解体工事期間中における街の美観向上および賑わいの創出に寄与することを目的に、NTT 日比谷ビルと街の歴史を振り返る仮囲いアートを実施することになりましたので、お知らせします。



アート写真（日比谷通り側から見る）

■アートについて

アートを掲出する現地および街の記憶として、NTT 日比谷ビルと日比谷・内幸町エリアの歴史を振り返る写真を使用し、一本の線が、歴史ある建物、街の記憶を未来へと繋いでいく様子を表現しています。



当社はこれからも、NTTグループがもつ ICT、不動産、エネルギー、環境技術などを活用し、個性豊かで活力ある街づくりを推進するとともに、地域・自治体・企業の皆さま等と、日比谷・内幸町エリアの街の魅力向上に向けて、さまざまな取り組みを進めてまいります。

■仮囲いアート概要

期間：2023年4月～解体工事終了まで（時期未定）

場所：NTT日比谷ビル（東京都千代田区内幸町1-1-6）

※仮囲いアートの掲出は、予告なく終了する場合がございます。

■NTT日比谷ビルについて

NTT日比谷ビル（旧日比谷電電ビル）は、1961年（昭和36年）に当時の電電公社の本社ビルとして竣工したオフィスビルです。時代ごとの事業ニーズに応じたりリニューアルを重ね、フロア構成や平面構成を変えながら、NTTグループの事業運営を支えてきました。

建築面においては「新時代を切り拓く大規模事務所ビルの一つのプロトタイプ」として高く評価され、日本建築界において栄誉とされる日本建築学会賞（1961年度）の受賞とともに、近代建築の記録と保存を目的とする国際学術組織である DOCOMOMO（1988年設立）の日本支部が選定する「DOCOMOMO100選」にも選定されるなど、その後の事務所建築に大きな影響を与えました。



竣工時外観：日比谷通りから（1962年）



竣工時鳥観（1962年）



解体前外観：日比谷通りから（2022年）



解体前眺望：塔屋から（2022年）

NTT日比谷ビルの建物概要や記録写真等の詳細は、下記サイトから詳しくご覧ください。

株式会社 NTT ファシリティーズ「旧日比谷電電アーカイブス」

<https://www.ntt-f.co.jp/architect/profile/archive/hibiya-bld-archives/index.html>

■（仮称）内幸町一丁目街区開発プロジェクト「TOKYO CROSS PARK 構想」について

（仮称）内幸町一丁目街区開発プロジェクトを推進する事業者 10 社は、当街区の事業構想として「TOKYO CROSS PARK 構想」と、構想に基づきを掲げる 5 つのテーマを発表しました。当街区は、都心最大級の延床面積約 110 万㎡の開発プロジェクトであり、約 16ha の日比谷公園とつながるとともに、北地区・中地区・南地区の 3 つの地区で構成し、オフィスや商業施設、ホテル、住宅機能等を備える予定です。



内幸町一丁目街区完成イメージ

【参考：関連リリース】

- ・「内幸町一丁目街区」におけるまちづくり方針の合意について（2021年3月25日発表）
<https://www.nttud.co.jp/news/detail/id/n25957.html>
- ・都心最大級延床約 110 万㎡、日比谷公園と一体となった比類なき街づくり「TOKYO CROSS PARK 構想」を発表 内幸町一丁目街区における次世代スマートシティプロジェクト（2022年3月24日発表）
<https://www.nttud.co.jp/news/detail/id/n26376.html>

■ 本件お問い合わせ先

NTT 都市開発株式会社 広報室 鈴島、小張 Tel : 03-6811-6241